

**若手始動人育成のための地域課題解決アイデア共創ワークショップ企画運営業務
委託事業者公募に係る質問への回答**

令和6年5月16日 群馬県戦略企画課未来創生室

質問	回答
<p>2</p> <p>①「ワークショップで共創されたアイデア実現に向けたサポート」とありますが、サポートの内容や範囲は、どこまでを想定していますか（資金支援なども含まれるのかなど）</p> <p>②「その他、ワークショップの企画運営に関する相談全般」とありますが、「相談全般」とは、どんな内容を想定していますか。</p> <p>③「実装されている」とは、どのような状態を指していますか。</p> <p>④今回の企画は、自治体の新規事業を生み出すための取り組みなのか、起業を促すための取り組みなのかなど想定している出口設計を教えてください。</p> <p>⑤民間人はどのように募集されますか。また、ワークショップ参加者のワークショップへのモチベーションはどこにあるのでしょうか（例えば、自身のアイデアで県の支援を受けながら起業ができるなど）。</p> <p>⑥地域課題は、現状、群馬県が抱えているものなど、提示があるのでしょうか（例えば、県民広場の活用方法など）。それとも、地域課題特定のリサーチからワークショップの内容に含まれるのでしょうか。加えて、地域課題の設定方法（誰が、いつ、どのように）についても教えてください。</p>	<p>①サポート内容と範囲について、資金支援など金銭を伴うものは想定していません。例えば、「子どもから大人まで集うイベント開催」がワークショップで共創されたアイデアの場合、どのようにイベントを運営するか（アイデア発案者だけではなく、一緒に運営に携わってくれる方の募集）、参加者募集をどのようにするか（SNS、福祉施設などへの声かけ）など、実現に向けたアドバイスをいただくことを想定しています。</p> <p>②ワークショップを実施する中で、参加者同士が活発に意見交換し、アイデアを発案できるよう、適宜参加者への相談などにご対応いただくことなどを想定しています。</p> <p>③実装されているというのは、ワークショップで発案されたアイデアが実現している状態を指しています。例えば、「子どもから大人まで集うイベント開催」がワークショップで発案されたアイデアであれば、実際にそのイベントを開催できた状態であれば、実装されていると言えます。</p> <p>④出口設計は「仕様書の1目的」に記載したとおり、官民共創による地域課題解決をテーマとしたワークショップをとおり、始動人として成長するぐんまモデルをつくるのが、最終目標となります。従いまして、自治体の新規事業を生み出すこと、起業を促すことが出口設計ではございません。</p> <p>⑤民間人の方は、群馬県ホームページで広く募集する他、群馬県の包括連携協定締結企業など群馬県が日頃から事業などで関係する企業への周知などを考えております。</p> <p>「仕様書の1目的」に記載したとおり、起業支援が本事業の目的ではないため、参加者は起業が第一目的の方というより、例えば、昨年度の参加者には「地域に根付いた活動の作り方や考え方、ノウハウを学べた」「始動人としての想いを持った人と出会えた」などの満足感を得た人もいました。</p> <p>⑥地域課題は、群馬県からの具体的な提示は想定しておりません。地域課題特定に係るリサーチをワークショップに含めるかは、特に決まりはありません。例えば、ワークショップでリサーチ方法をレクチャーし、参加者が各自持ち帰ってリサーチいただくという方法も可能です。</p> <p>地域課題の設定方法についても、特に決まりはありませんので、必要に応じて、提案内容に含めてください。ただし、最終的なテーマ設定は、群馬県戦略企画課未来創生室と相談の上、決定となります。</p>